



# 町長室だより

築上町長 新川 久三



梅雨明け間近だと思えますが、いよいよ盛夏の時季となり、これから益過ぎまで暑い日が続きます。

## 3 財産区議会を廃止、 管理会制度へ移行

昭和30年の旧椎田町との合併当時に村有林を有していた旧西角田村と旧葛城村は、町長を財産区管理者とし、財産区議会を設置して今日まで運営してきましたが、6月30日で財産区議会を廃止し、財産区管理会に移行する認可を県知事から受けたところです。

旧築城町でも同じく、旧上城井村と旧下城井村の村有林を財産区制度で運営してきましたが、上城井財産区は議会を廃止して管理会制度に移行しました。下城井財産区は、財産区議会の意向で従前のまま運営します。

管理会制度に移行した財産区管理者は、従前の財産区議会に提案した事項を管理会の同意を得て町議会に提案して承認を得ることとなります。下城井

財産区議会議員選挙は6月27日に告示されました。

## GIGAスクールの推進

6月6日に東京で、教育再生首長会議の総会があり、基調講演として文部科学省 寺門成真学習基盤審議官の「GIGAスクール構想の当面の課題」と題したお話がありました。

授業で一人一台のタブレットパソコンを使っている学校間でも、子どものタブレットの使用頻度に格差があるという指摘がありました。全国平均では「毎日利用」は8割ですが、「家庭への持ち帰り利用」は2割ということでした。本町ではほぼ毎日活用しており、持ち帰り学習も推進しています。

国の調査で築上町は、子どもたちが自分で調べる場面、自分の考えを発表・表現する場面、子ども同士がやり取りする場面、先生と子どもがやり取りする場面で、平均以上のインターネット使用率を達成していることがわかり

ました。ICTの導入で授業がやりやすくなったという教員の声もあります。指導側の端末操作方法の習熟度を高めるなどで今後さらなる端末活用の充実を図ってまいります。

8月に行われる教育再生首長会議のオンライン会議では、私が講師となり、小学校の環境学習として子どもたちが液肥利用農業（自然生態系農業）の体験をしている話をする予定です。町の進んだ取組を全国の首長に紹介したいと思えます。



地域おこし協力隊員の加藤詩乃さんが作成したポスターが、全国の現役または元地域おこし協力隊員対象のポスターデザインコンテストで、優秀賞に選ばれました。加藤さんは、現在協力隊の任期2年目で、寒田の牧の原キャンプ場内のまこちの里で日々新しいことを学びながら地域に溶け込み、築上町の活性化につながるよう頑張っています。



◀左ページの下段中央が加藤さんの作品

## 地域おこし協力隊 デザインポスターが優秀賞受賞

暑さの増す時期です。町民の皆さまには健康にご留意いただき、ご自愛ください。